

産業人を表彰

昨年11月15日付で、優良従業員や技能職功労者などを表彰しました。各分野の受賞者は次のとおりです(順不同・敬称略)。

商・工業関係(市長賞)

●商工優良従業員の部
※市内の事業所に勤務する従業員を表彰。

- 柏木寛之(伊勢原市)、西脇仁(川崎市多摩区)、宮地正也(厚木市)、高橋有紀(横浜市瀬谷区)、阿見潤(茅ヶ崎市)、長谷川佐智子(座間市)、山田栄子(座間市)、篠利幸(相模原市中央区)、高塚英雄(茨城県つくばみらい市)、渡辺善弘(千葉県野田市)、板倉留実子(寒川町)、村上天博(柳橋)、前沢貴志(座間市)、中村隆史(相模原市南区)、中座真康(下鶴間)、朝比奈久子(相模原市南区)、長沼宏(南林間)、城所保男(下鶴間)、大久保栄理子(中央)、三島木隆太(横浜市戸塚区)、池田由子(横浜市保土ヶ谷区)、渡邊久志(相模原市中央区)、渡邊公允(相模原市南区)、入場勝久(草柳)、古山園美(座間市)、青山直子(茅ヶ崎市)
●技能職功労者の部
仁浜サツ子(代官)、小幡秀造(大和)

南)、浅見勤(深見)、津崎一人(西鶴間)、菅野利勝(中央林間)、小姓堂宮夫(福田)
●優秀技能者の部
坪井美登利(綾瀬市)、柴田啓輔(柳橋)、吉田明生(西鶴間)、小林一利(深見)、武井成憲(南林間)、丸山浩生(深見)

健康企業の部

FCNT(株)(中央林間)、極東開発工業(株)(深見西)、(株)オート電機(深見西)、ロジフォワード(株)(福田)
●女性活躍及びワーク・ライフ・バランス推進企業の部
(公社)神奈川県地建物取引業協会 県央支部(桜森)。

農業関係

※(一)内は生産支部名。
●立毛共進会優等賞
ハウス野菜:保田達也(下福田北部)、梨・神谷貴博(宮久保)、ぶどう:石井建一(下和田)
●持寄り品評会優等賞
ハウス野菜:保田達也(下福田北部)、夏野菜:露木美智雄(久田)、果樹:山下慶徳(山下)。

●商・工業関係について▼市役所産業活性化課企業活動サポート係☎(260)51335 FAX(260)51338(女性活躍及びワーク・ライフ・バランス推進企業の部)については市役所国際・男女共同参画課国際・男女共同参画係☎(260)51664 FAX(260)20800
●農業関係について▼市役所農政課農政係☎(260)5132 FAX(260)6281

令和3年度つる舞の里歴史資料館 企画展「幕末・明治の輸出工芸品」

幕末の開国は社会にさまざまな影響をもたらしました。輸出産業が奨励され、市域でも養蚕や生糸生産が盛んになりました。今回の企画展では、こうした社会構造の変化に着目。市文化財保護審議会会長の金子皓彦氏のコレクションから、輸出工芸品である漆器、陶磁器、金属器、七宝焼、芝山細工を取り上げ、幕末・明治期の輸出産業とともに市域を含めた近代化のようすを紹介します。
■共通事項
●つる舞の里歴史資料館。

企画展

内容▼「金子コレクション 幕末・明治の輸出工芸品」との伝統は海を越え人々を魅了した」
とき▼1月15日(土)〜3月21日(祝)午前9時〜午後5時(入館は午

ギャラリートーク

とき▼①2月5日、②3月12日(いずれも土曜日午後2時〜3時)
定員▼各先着20人
講師▼金子皓彦氏
申し込み▼①1月15日(土)〜2月4日(金)、②1月15日(土)〜3月11日(金)に直接または電話でつる舞の里歴史資料館へ。氏名、電話番号を記載し、ファクスも可。
※1月14日(金)まで臨時休館。常設展復旧のため3月22日(火)〜29日(火)は臨時休館。

つる舞の里歴史資料館☎(270)3633 FAX(272)52116

第10回やまと

伝統文化フェスティバルを開催

伝統文化の魅力を多くの人に伝えるとともに、次代の担い手を育てるため、「やまと伝統文化フェスティバル」をシリーズで開催します。

サブホールでは、市内の子どもたちを対象に実施した日本舞踊や茶道、詩吟などの体験教室や子どもも伝統文化塾の活動のようすを上映します。ギャラリーでは、子どもたちの生け花と書道の作品を展示します。さまざまな伝統文化をお楽しみください。

とき▼1月29日(土)午前10時〜午後4時
ところ▼シリウス1階サブホール・ギャラリー
申し込み▼不要。



市役所文化振興課文化振興係☎(260)5222 FAX(263)2080

「大和なでしこサッカーフェスティバル」を開催

世界で活躍する現役のトップアスリート、女子プロサッカープレイヤーの川澄奈穂美選手を講師に招き、サッカー教室やミニゲームを開催。初心者も楽しめますので、ぜひご参加ください。
とき▼1月15日(土)午後1時〜3時(雨天中止)
ところ▼大和ゆとりの森大規模多目的スポーツ広場
対象▼市内在住・在勤・在学の4歳以上の女性(未就学児は男子も可)。



川澄奈穂美選手

定員▼先着100人
持ち物▼運動靴(サッカースパイク可)。動きやすい服装で

申し込み▼1月11日(火)までに、直接または電話で大和スポーツセンター内市スポーツ推進係☎(260)5762 FAX(262)9514

住宅火災から命を守るために

火災は皆さんの生命や財産を一瞬のうちに奪ってしまいます。昨年12月、市内で一般住宅が全焼する火災が相次いで発生し、尊い命が失われました。空気が乾燥するこの季節は、特に火災が起きやすくなっています。火の元の取り扱いには十分ご注意ください。

令和2(2020)年の全国の住宅火災件数(確定値)は1万564件で、住宅火災による死者は899人(放火自殺者等を除く)。そのうち71.7割に当たる645人が65歳以上でした。原因は「逃げ遅れ」が448人で最多。

火元の主なものは「こんろ」「たばこ」「電気機器・配線等」「ストーブ」などです。
現在、市消防本部では消防車両などで防火パトロールを強化しています。家庭でも次の対策をして、住宅火災を防ぎましょう。

住宅火災から命を守る10のポイント

- 4つの習慣▼寝たばこは絶対にしない、させない/ストーブの周りに燃えやすいものを置かない/こんろを使うときは火のそばを離れない/コンセントのほこりを取り、 unnecessary プラグは抜く

6つの対策▼ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使う/住宅用火災警報器を定期的に点検(10年を目安に交換)/部屋を整理整頓し、寝具、衣類、カーテンは防災品を使う/消火器などを設置し、使い方を確認/高齢の人や体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確認し、備えておく/防火防災訓練への参加、戸別訪問など地域ぐるみの防火対策をする。

市消防本部予防課予防係☎(260)5727 FAX(262)0119